



2023.7.9(日) 14:30kickoff ヨドコウ桜スタジアム

関西学院大学	1	0	前半	0	0	阪南大学
		1	後半	0		
83分	10 倍井 謙 (13 村上 景司, 15 塩崎 彰)	得点(アシスト)				

加盟58大学の頂点を目指す関学大と阪南大による決勝戦は観衆4000人を超えるヨドコウ桜スタジアムにて行われた。試合はボールを握る関学大、守備からカウンターを狙う阪南大という構図に。30分、関学大に決定機。右サイドを突破したMF17,高木のクロスにFW9,渡邊が頭で合わせるも、ボールはクロスバーに嫌われる。39分には阪南大。右サイドを抜け出したFW10,金本からのグラウンダークロスにMF8,濱屋が右足で合わせるもキーパーに弾かれる。83分、ついに均衡が崩れる。関学大が右サイドのスローインからMF15,塩崎が逆サイドに展開。左サイドでボールを受けたDF13,村上がクロスを送ると、ゴール前中央に飛び込んだMF10,倍井が頭で合わせ、ボールはキーパーの手を弾きゴールに吸い込まれた。関学大がこの1点を守り切り、7大会ぶり6回目の関西王者に輝いた。試合後、倍井は「決勝でとても緊張感のある試合だったが、みんながそれぞれ強い思いを持って戦った結果が優勝につながったと思う。大雨の中必死に応援してくれた仲間の期待に応えられたことが、我々は何より1番ほっとしている。この関西選手権を通して、チーム力が格段に上がったと確信している。この成長率をより上げていき、全国の舞台でも関学の強さを示せるよう、日本一のことだけを考えてみんなでまた頑張っていきたい。」と話した。



Reported by 片岡颯真



2023.7.9(日) 11:00kickoff ヨドコウ桜スタジアム

関西大学		4	2	前半	2	5	立命館大学	
			2	後半	3			
17分	17 百田 真登(5 吉村 瑠晟)		得点 (アシスト)			5分	11 小西 宏登	
24分	2 川島 功奨(5 吉村 瑠晟)					13分	25 戸水 利紀(12 比良 柊斗)	
50分	17 百田 真登(2 川島 功奨)					67分	11 小西 宏登(14 野濱 友哉)	
58分	9 西村 真祈(17 百田 真登)					89分	28 中野 瑠馬(25 戸水 利紀)	
						90+2分	9 大谷 優斗 (27 澤田 忠和, 24 秋葉 拓人)	

ついに最終日を迎えた本大会の3位決定戦がヨドコウ桜スタジアムにて行われた。雨の予報もあった中、なんとか曇り空の下行われた試合は壮絶な打ち合いとなった。先手を取ったのは立命大。5分、MF11、小西が相手のパスミスを逃さずゴールに流し込む。さらに13分にはMF25、戸水が追加点。このまま立命大が試合を優位に進めると思われた直後の17分、関西大の反撃が始まる。DF5、吉村のクロスにFW17、百田が上手く頭で合わせ1点を返す。このゴールを皮切りに関西大の攻撃力が火を吹く。24分、MF2、川島のゴール前での冷静な切り返しからゴールを決めると50分、58分にも関西大が誇る2トップ、百田とFW9、西村がそれぞれゴール。このゴールで関西大が2点のリード。しかし、ここから勝負強さを見せたのは立命大であった。67分、小西のゴールで1点差とすると、終了間際の89分、MF28、中野のループシュートで同点に追いつく。このまま延長かと思われた90+2分、立命大の点取り屋が躍動する。途中出場のMF27、澤田がサイドを突破すると、待っていたのはFW9、大谷。準々決勝では大量5ゴールを決めた大谷がその得点感覚を土壇場で発揮し、ゴールを決めた。試合は立命大が5-4で勝利。両校ともに死力を尽くし、本大会最終日に相応しい好ゲームを魅せた。



Reported by 吉田岳玄